

# 重量拳部

設立	1955年4月(推測)
部長	
現在の部員数	3人(推測)
OB/OG 会代表者	岩崎 修平、池田 功
OB/OG 会会員数	30名(推測)
部誌	部報
URL	<a href="http://keioagebu.web.fc2.com/">http://keioagebu.web.fc2.com/</a>

## 創部当時の思い出

重量拳部の歴史については定かでないところがあるが、16期生の卒業アルバム(1958年3月)に重量拳部の集合写真があることから、1955年頃には活動を開始していたものと推測される。小金井のグラウンドの地面の上で練習をしていたようで、雨が降れば練習中止のようだった。また、部員はすべて慶應高校出身者であった、と伝えられている。1961年に秋田で開催の第16回国体において、フライ級では山田(機械工学科)が優勝、ヘビー級では富田(電気工学科卒)が第3位となった。国体でのメダル獲得は、これ以前にも以後にもない。1963年春には、岩崎が神奈川県国体選手選考会のプレス競技において2位となった。

## 小金井時代の苦勞

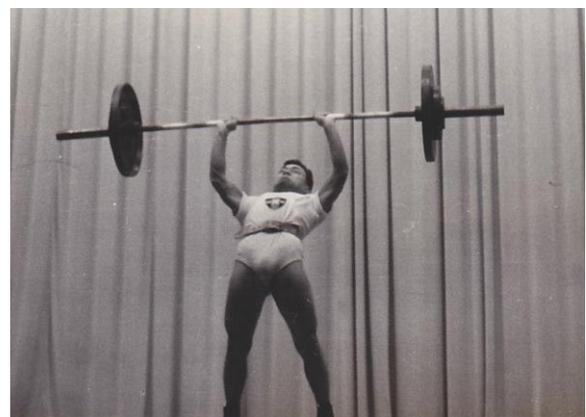
体育会とのつながりが強かったため、日曜日には日吉に出かけて合同練習をしていた。小金井ではリンクが無いため、雨上がりの地面での練習は



16期卒業アルバム(1958年3月)



1961年12月 小金井にて  
前列右端富田(ヘビー級)、右から2番目山田  
(フライ級)が秋田国体で活躍した



神奈川県国体選手選考会のプレス競技 岩崎2位  
1963年春 プレス競技は現在はない

面白いものがあつた。バーベルを持ちあげた後、地面に下ろすと、バーベルが地面にめり込んでしまうことが度々であつた。したがって、まだめり込んでいない所を探して移動し練習すると、地面にめり込んだ跡がつながり電車のレールみたいになったのを思い出す。

また、合宿は毎年小金井のユースホステル(浴恩館)で行っていた。普段の練習は各人バラバラ



グラウンドで練習する工学部メンバー 1964年春  
中央は佐藤(1964年管理工学科卒)



合宿 小金井にて 1968年



納会 1964年12月 辻岡部長を囲んで

で、そろって練習はできない状況だった。しかし、合宿だけは皆そろって集まり、楽しい練習となった。

合宿最後の日は打ち上げとなり、皆で会食し、その席で余興として罰ゲームがあった。罰ゲームの内容は斬新なものが多々あり、皆で腹を抱えて笑った。どうしてそんなアイデアが出るのって...? 今思うとあれが青春の心から楽しい一コマなんだな一と思う。

### 矢上移転後の活動

矢上に移転後、体育会重量挙部に入部する学生が多くなり、理工学部重量挙部は休眠状態となって現在に至っている。1971年卒の田中が小金井経験者の最後となった。小金井で使用されていたバ

ーベルも矢上に持ってこられたが、今は静岡県清水市の「養生館」(22期佐藤設立)にある。

理工学部体育会ではないが、その後の理工学部の学生の重量挙げ活動を以下に記述する。

1975年	応用化学科	玉木 昭平
1976年	応用化学科	黒須 一夫
1984年	数理工学科	中村 茂
1986年	電気工学科	芝原 浩二
1992年	機械工学科	河野 泰成
〃	機械工学科	村松 健一
1993年	計測工学科	高崎 晃彦
1994年	数理科学科	日下 芳明
1995年	数理科学科	櫻井 秀志
1997年	電気工学科	清瀬 景之
〃	機械工学科	紅林 真之
〃	物理学科	金子 明生
〃	機械工学科	佐野 弘幸
1999年	機械工学科	河原林 稔
〃	計測工学科	田中 靖浩
2000年	機械工学科	山下 太一
〃	管理工学科	豊島新太郎
2008年	電子工学科	田村 圭輝
2010年	物理情報工学科	桐生 智志
2012年	物理学科	田島 裕之

## 現役の活動状況

現在は、多数の理工学部生が各種大会で活躍している。最近では理工学部生ではあるが、2009年度の桐生智志(2009年度)と田島裕之(2011年度)が体育会重量挙部の主将を務めている。なお、田島裕之は2011年度の藤原賞を受賞した。

## OBの最近の活動状況

2013年5月 青森県八戸市で行われた第31回全日本マスターズで池田功(1966年電気工学科)は下記の記録を出して、56キロ級の優勝を勝ち取った。

スナッチ 56 キロ、ジャーク 67 キロ  
トータル 123 キロ

これらはすべてマスターズ日本新記録であった。また、同大会で岩崎修平(1960年機械工学科)は3位に入賞した。この大会は2014年の世界マスターズ大会(コペンハーゲン)の日本代表選考会を兼ねていたため、池田、岩崎の両名が日本代表のメンバーに選ばれた。

2013年8月イタリア・トリノで世界マスターズ大会が開催され、以下の成績を納めた。

池田：70歳台 56キロ級 金メダル  
岩崎：70歳台 62キロ級 銅メダル。